

健やかな地球と私たちの健康のために。



## 会社概要

RCBI   
株式会社 レビオ

〒073-0042 北海道滝川市泉町1丁目1番21号  
TEL (0125) 23-6660・FAX (0125) 23-6658  
<http://rebio.jp>



## 会社概要

会社名:株式会社レビオ

代表者:代表取締役 高瀬 勝

所在地:〒073-0042 北海道滝川市泉町1丁目1番21号

TEL (0125) 23-6660 FAX (0125) 23-6658 URL <http://rebio.jp>

設立:1999年4月

資本金:2,205万円

●特許登録:第3810922号

●商標登録:4754389号

●意匠登録:レビオシステム4387496号・レビオポスト4403599号・レビオプラント4383149号



〈企業理念〉

**かけがえのない地球を次代に引き継ぐ。**

〈事業コンセプトと技術力〉

「生ごみのリサイクル循環システム」

**健やかな地球と私たちの健康のために。**

- ◎生ごみを自然の力(微生物)で分解する技術
- ◎生ごみの分解過程で発生する臭いを脱臭する技術
- ◎生ごみを特殊堆肥として製造する技術
- ◎有機性油を分解する技術

〈事業ビジョン〉

**食品廃棄物を堆肥(有機肥料)として再資源化し、  
安全な農作物を育てて流通させる  
「食の循環」が「レビオシステム」基本型です。**

レビオシステムは、家庭や食品事業者から出される「食品廃棄物(生ごみ)」を堆肥(有機肥料)として再資源化し、さらにその資源を使用する提携農場(オーガニックファーム)で安全な美味しい農作物を育て、消費者に還元する「食の循環型システム」を基本としています。

さらに、レビオシステムの構築で培った技術と経験は、「製造する」「栽培する」「加工する」「販売する」「消費する」といった一連の流れを通じて、食品関連業をはじめ、幅広い分野での新事業創出やSDGsを達成するための取り組み等、多様化する社会ニーズに大きく貢献することができます。

## SDGs達成に貢献するレビオシステム

**「Re-bio (リ・バイオ) =いのちをふたたび」を意味する社名「レビオ」に想いを込めて「食の循環」と「環境保全」を両立する循環型社会づくりでSDGsに貢献をします。**

社名である「レビオ」は、「Re-bio (リ・バイオ) =いのちをふたたび」の意味と実現へ向けた想いを込めて名付けました。

私たちの食生活において、真の循環型リサイクルシステムは、現代の生ごみ処理問題の改善や環境保全のために欠かせない理想的な仕組みと捉え、「かけがえのない地球を次代に引き継ぐ」という理念を基に取り組んでいます。また、「人も環境も健やかであること」、「活力ある社会生活を誰もが送り続けること」は、次代に引き継いでいく上でも重要なファクターと捉えています。

こうした観点からも、持続可能な未来へ向けた「食の循環型社会」を目指す「レビオシステム」は、食品リサイクル分野を通じて世界各国が目指すSDGs達成するための取り組みに大きな役割を果たすことができると考えています。



## 事業経歴

### 〈1997年～1999年〉

生ごみ処理システムの開発に着手。生ごみ処理システムとして特許出願。芦別市にて実証テスト開始(レビオポスト5台、100世帯に依頼)。北海道起業化推進奨励事業補助金が確定(平成11年度・平成12年度)。意匠登録:第1085334号

### 〈2001年〉

北の生活産業デザインコンペティション金賞受賞(レビオポスト)。グッドデザインほっかいどう選定商品(レビオポスト)。旭川市のモデル事業としてレビオポスト2台納入(西神楽地区)。新脱臭剤の特許を(株)レビオとズードケミー触媒(株)で共同出願。

### 〈2002年〉

マーケティング拡大のため、レビオポスト5台でモニターを開始(旭川市4台、東川町1台)。ベンチャープラザ IN HOKKAIDO 2002に選認されプレゼンの結果、北海道代表に決定。2003年1月に全国大会出場(東京ビッグサイト:北海道経済産業局産業部新規事業課)。

### 〈2003年〉

函館市借上げ市営住宅にレビオポスト1台納入。商標登録:第4754389号

### 〈2005年〉

特殊肥料生産業者届出(受理番号:第5743号)。肥料販売業務開始届出(受理番号:第空35号)。札幌市のモデル事業としてレビオポスト2台採用(市営苗穂住宅、マンション・アルカサーノ琴似)。

### 〈2006年〉

特殊肥料レビオスが「北海道認定リサイクル製品」に認定(循環第1554-11号)。北広島市のモデル事業としてレビオポスト3台採用。特殊肥料レビオスが道産資材活用促進モデル工事に係る積算単価表に掲載。レビオポスト特許取得「一般ごみ等の減量化方法及びその装置」特許第3810922号として登録される。

### 〈2008年〉

特殊触媒特許取得「コンポスト装置より発生する悪臭物質の除去方法」特許第4138289号として登録される。

### 〈2009年〉

中国上海市近郊の農業視察。

### 〈2010年〉

脱臭用触媒の改良に取り組む。

### 〈2011年〉

イタリアントマト「なつのこま」を使ったトマトジュース製造開始。

### 〈2012年〉

道経済部主催の中国東北3省企業とのビジネス商談会参加。

### 〈2013年〉

中国吉林省長春市訪問長春市内企業と商談。

### 〈2014年〉

中国企業2社が商談のため来道。

### 〈2015年〉

中国南通市訪問中国企業と契約内容について打ち合わせ。青森県弘前市のNPO法人「もったいないつがるの会」(代表理事三国信義氏)と排出生ごみ減量について意見交換開始。

### 〈2016年〉

複数回にわたり弘前市を訪問、イベント参加・展示会開催を実施。

### 〈2017年〉

NPO法人「もったいないつがるの会」賛助会員となる。

### 〈2018年〉

弘前市及び周辺町村へ三国理事長様同行のうえ営業活動実施。改良脱臭触媒の性能確認試験を実施(旧タイプより脱臭能力UP確認)。

### 〈2019年〉

弘前市内での実証試験開始(6ヶ月間3か所で市の助成金対象)。

### 〈2020年〉

弘前市周辺自治体への営業活動実施。12月NPO理事長様事故のため活動休止となる。

### 〈2021年〉

レビオポスト(生ごみ処理機)経年劣化(18年稼働)のため更新(札幌市内)。

### 〈2022年〉

レビオス(生ごみ堆肥)のみでの密植栽培試験開始(セロリ・キャベツ・ナス・パプリカ・ピーマン他)。中国四川省成都市の企業とリモート商談実施。

### 〈2023年〉

ゼロカーボンに取り組む北海道の自治体にレビオシステムを提案。台湾企業に向けたごみ処理事業のビジネスモデルを提案。中小企業基盤整備機構のビジネスマッチングサイト「J-GoodTech(ジェグテック)」に登録。